

経営発達支援事業

外部評価委員会報告書

令和4年度

館林商工会議所

1. 外部評価委員会の目的

当所では、平成28年4月に国（経済産業省）より認定されました「経営発達支援計画（一期目）」を基盤として、地域の小規模事業者の持続的発展を目指すため、事業者に寄り添った伴走型の経営支援を推進してまいりました。

令和3年3月26日には、二期目となる「経営発達支援計画（令和3年4月～令和8年3月）」の認定を受け、伴走支援の更なる強化を目指しております。

国の指針として、年に一度、外部評価委員による事業評価を行い、経営支援の内容等について改善を図り、小規模事業者にとってより効果のある伴走支援を実施していくことと定められております。

当所の「経営発達支援計画」のこれまでの事業について実績報告し、今後の効果的な経営支援方法や改善点等について協議することを目的としています。

2. 外部評価委員会開催日

日時：令和4年12月21日（水）10時30分～

場所：館林商工会議所 役員会議室

3. 外部評価委員会出席者

■館林商工会議所 事務局（5名）

- 専務理事 山本 紀夫 ○中小企業相談所長 鹿沼 義一
- 経営支援課長 相場 勉 ○経営支援課 古川 智哉
- 経営支援課 原 洋介

■館林市経済部商工課 事務局（3名）

- 商工課長 岩瀬 明 ○商工課工業振興係長 島野 善彰
- 商工課工業振興係 松本 康生

■外部評価委員（2名）

- 日本政策金融公庫前橋支店 国民生活事業融資第二課長 田村 崇氏
- 株式会社エイチ・エーエル 取締役情報企画事業部長 田村 嘉康氏

4. 経営発達支援事業の評価を行う項目

【経営発達支援事業の目標】

①小規模事業者数の維持

新しい販路開拓の支援を行い、地域経済を支えている小規模事業者の活力の維持を目指す。

②競合他社に負けない店舗作りの実現

顧客ニーズ・環境変化に対応した商品やサービス開発し、競合他社に負けない店舗作りを支援する。

③「館林のものづくり技術」の情報発信力強化

企業誘致・販路開拓に繋がる「館林のものづくり技術」の情報発信力強化を行い、新規商談成立を目指す。

④観光振興政策を活用した新規顧客獲得及び地域外流入額向上

館林市が実施している地域資源を活用した観光振興政策に合わせた店舗ごとのプロモーション活動強化を行うことで、地域外からの新規顧客獲得及び地域外流入額増加を目指す。

⑤自律的に経営課題に立ち向かう小規模事業者の輩出

創業から事業承継まで一貫して支援可能な商工会議所が身近なホームドクターとして支援することで、小規模事業者が日々抱えている経営課題を解決し、売上向上の取り組みに専念出来るようにする。

【I.経営発達支援事業の内容】

1. 地域の経済動向調査に関すること

景況調査分析結果や地域動向調査分析結果は、小規模事業者が事業計画書作成等を行う際の外部環境の根拠データとして活用する。

2. 需要動向調査に関すること

地域資源を活用した新商品・新メニューに関するマーケティング調査を実施し、市場ニーズにマッチした新商品・新メニューの開発支援を行う。

3. 経営状況の分析に関すること

意欲ある小規模事業者に対して、定量分析である財務分析と定性分析であるSWOT分析の双方を行い、経営分析結果をクラウド型経営支援システム「BIZミル」へ蓄積するとともに事業計画書策定の際に活用する。

4. 事業計画策定支援に関すること

必要に応じて専門家と連携しながら、各分析データ等を踏まえた事業計画書策定の支援を行う。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

小規模事業者が策定した事業計画の着実な実行を支援するため、計画的なフォローアップを行う。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

小規模事業者の新規販路開拓を支援するために、展示会出展、ネットショップ立ち上げ、その他ITツール活用等の支援を行う。

5. 外部評価委員による評価基準

- A：計画目標を達成することができた
 B：計画目標を概ね達成することができた
 C：計画目標を半分程度しか達成することができなかった
 D：計画目標をほとんど達成することができなかった
 E：未実施
- ※改善が必要な事項など意見については評価シートに記載する

6. 外部評価委員による評価結果

項目等	意見・改善事項等	外部評価委員評価	
		委員①	委員②
1. 地域の経済動向調査に関する事	委員① なし 委員② RESASのようなマクロ情報を幅広く伝えることは重要だと思いますが、発達計画にある「意欲ある事業者」または「意欲を持ってそうな事業者」には、個別にマクロ情報をお伝えいただけるとより事業者も事業展開をイメージすると思います。	B	C
2. 需要動向調査に関する事	委員① なし 委員② 本調査は、商品・サービスのブラッシュアップ等につながれば良いと思いますので、ライトに数多く実施することをオススメします。	B	A
3. 経営状況の分析に関する事	委員① 目標を上回っている。継続して実施してもらいたい。 委員② 定量(財務)分析と定性分析を事業者にお伝えいただき、事業者が現況に対して「腹落ち」でき、将来に向けて意欲を出してもらえらる伴走支援を期待します。	A	A
4. 事業計画策定支援に関する事	委員① コロナ禍において策定件数は目標を大きく上回っている。継続して実施してもらいたい。 委員② 補助金申請を本当の意味での計画として事業者へのフォローアップを期待します。	A	A
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事	委員① フォローアップ対象先への継続的な支援を実施し、成長を手助けしてください。 委員② 発達事業は多数の事業者を相手にするわけではないので、次年度は意欲の可能性のある事業者を目標値分決めていただき、その事業者のために各ツールを活用して事業計画が実際に実行できるようフォローアップをお願いします。	C	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事	委員① ビジネスマッチングフェアにおいて、問い合わせどまりになってしまう原因があれば分析する必要がある。SNSを活用した取組は今後も増加させてください。 委員② IT活用の実績が出てますので、SNS活用中心に今後より力を入れても良いかと思います。実績の出ている事業者を引き続き支援していただき、利益等の実績も把握できると良いと思いました。	B	A

7. 今後の改善事項等

直近では、新型コロナウイルスへの対応からエネルギー高騰・物価高騰への対応が緊急課題となってきているので、館林市とより密接な連携をし、課題解決へ向けて相談業務を推進していきます。

また、創業・事業承継を含めて、小規模事業者支援に迅速に対応できる支援体制の強化に努め、売上アップ・利益アップに一社でも多く繋げられるように伴走支援を強化していきます。